

【実施体制】人材採用・育成に関する運営方針決定と進捗管理を行う「科学人材育成ステアリング委員会」と、ダイバーシティ&インクルージョンに関わる支援事業をとりまとめ戦略的に推進する「ダイバーシティ戦略会議」のもと、「女性研究者支援室」と「女性研究者支援室運営委員会」(全学委員会)により本事業を実施する。女性研究者支援室の事務局「女性研究者支援センター」は2つのメインキャンパス(中百舌鳥・杉本)に設置し、積極的に全学の部局・部署をはじめ、学外機関とも連携を図り本事業を推進する。

【特長】 大阪市立大学と大阪府立大学で培ってきた全学の支援体制と実績を活かし、女性研究者の活躍支援を加速して推進する。

・サステナブルな人材育成・活用

大学院生から執行部まで各段階に合わせた人材育成・活用策により、「研究者が来たい・辞めない・活躍できる大学」になるべく環境整備を強化する。

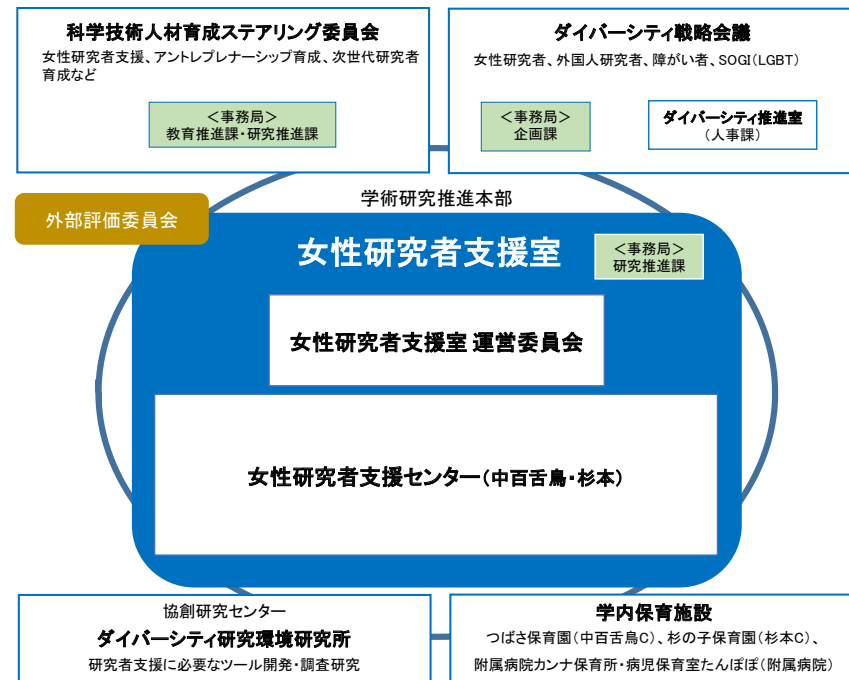
・景色を変える

上位職(教授、副学長等)および、メディアやシンポジウムに登場する女性比率を上げ、女性研究者の活躍を「見える化・魅せる化」する。

【取組概要(目標)】 専任教員のみ

1. 令和5年度以後、新規採用における女性比率30%以上
2. 令和10年度に、女性教員比率25%
 - ・教授における女性比率20%
 - ・准教授における女性比率25%
 - ・執行部(副学長等)における女性比率25%

【体制の概要】



【支援内容】

「研究者が来たい・辞めない・活躍できる大学」になるべく環境整備を強化し、
女性研究者の活躍を「見える化・魅せる化」することで、景色を変える

1. 女性研究者の上位職育成・積極登用にに向けた取組

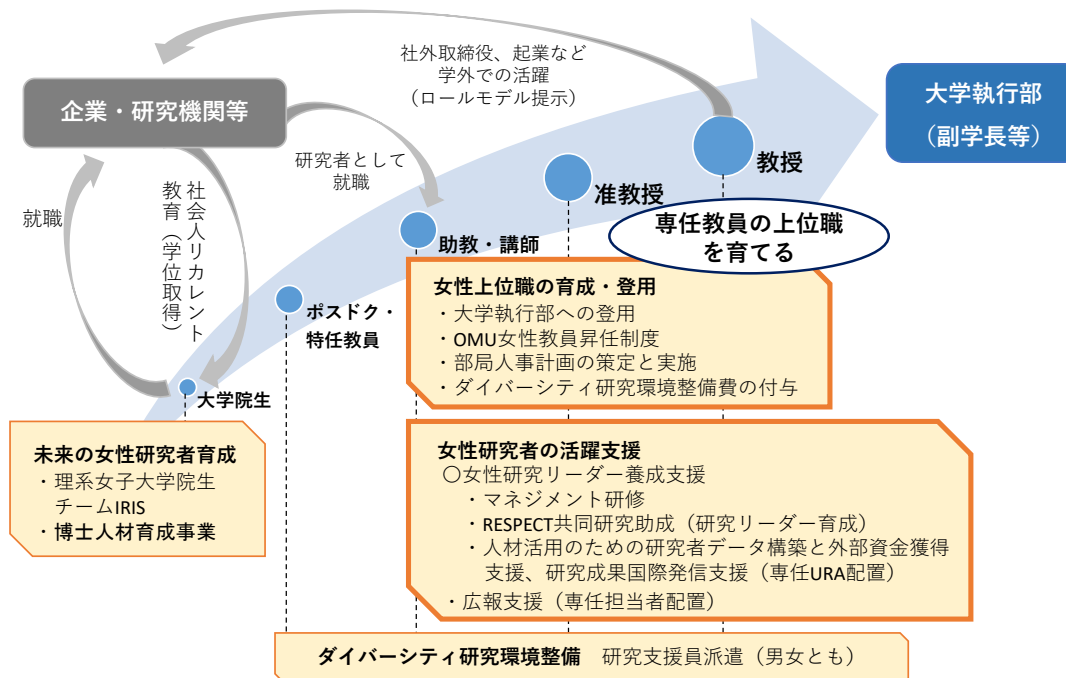
- ・OMU女性教員昇任制度(ポストアップ制度)
- ・部局人事計画の策定・実施
- ・ダイバーシティ研究環境整備費の付与 など

2. 女性研究者の活躍支援のための取組

- ・女性研究リーダー養成支援(RESPECT共同研究助成、マネジメント研修、研究成果の国際発信支援など)
- ・人材活用のための研究者データの構築
- ・女性研究者の活躍の「見える化・魅せる化」
(広報支援、ロールモデルの提示、シンポジウム等の女性登壇者の謝金補助)
- ・女性研究者表彰制度「岡村賞」 など

3. ダイバーシティ研究環境整備のための取組

- ・研究支援員派遣制度、保育支援
- ・ダイバーシティ推進研修(アンコンシャス・バイアス研修) など



【上記以外の取組】

大阪公立大学 理系女子大学院生チームIRIS

【お問合せ】大阪公立大学 女性研究者支援室

〒599-8531堺市中区学園町1-1 C4棟

連絡先: 072-254-9856 gr-knky-wsupport@omu.ac.jp

HP: <https://www.omu.ac.jp/r-support/>